

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	水辺の公私計画論検討小委員会		主 査 名：山田 圭二郎 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境運営委員会)		委員長名：羽山 広文 主 査 名：西川 豊宏
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的：公私計画論の観点から、水辺空間の所有・管理・利用等を巡る、公私の諸主体間関係、諸制度・地域的ルール、計画・マネジメント論の探究 ・活動計画：初年度：観点整理、事例収集・調査実施、2 年度：収集事例の充実及び現地調査の継続、3 年度：事例の充実、および、水辺の公私計画論の整理と検討、4 年度：水辺の公私計画論の取りまとめ、書籍の執筆・刊行 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：山田圭二郎 (金沢工業大学)、幹事：岡村幸二 (建設技術研究所)、委員：青木秀史 (オリエンタルコンサルタンツ)、市川尚紀 (近畿大学)、上山肇 (法政大学)、畔柳昭雄 (日本大学)、菅原遼 (日本大学)、坪井塑太郎 (人と防災未来センター)、村川三郎 (広島大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2015 年度予算	68,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 各委員の文献・資料調査を通じた公私計画論の観点提供と WS による議論 2. 各委員による事例収集と小委員会での報告による情報共有 3. 科研費申請書の作成を通じた公私計画論を巡る問題意識、観点、アウトプット等の共有
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし 2. 3.

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当初活動計画の通り、今年度計 5 回 (2 月 22 日の本年度第 5 回小委員会を含む)、小委員会を開催した。</p> <p>本年度は、当小委員会の 4 年間の活動計画の初年度に当たり、各委員により、公私計画論 (公私の多様な関わり) の観点から、都市空間のマネジメント事例の調査、公共的空間を巡る整備・利活用・管理等の思想の系譜及び「公共性」に係る文献・資料の収集がなされ、小委員会での報告・議論を通じて、委員間での情報共有を図ることができた。</p> <p>また、こうした議論と並行して科学研究費補助金：基盤研究(B)の申請書 (申請期間は本小委員会と同期間に設定) の作成を通じて、水辺の公私計画論を巡る問題の所在、事例収集・整理の観点、アウトプットの方向性等に関する共通認識を深めることができた。</p> <p>さらに、今後開催予定の第 5 回小委員会では、各委員が水辺の公私計画論に係るキーワード (公私計画論を包含する理念的・抽象的概念から、周辺関連分野の研究等の動向、具体的な事例の特徴等まで幅広く) を持ち寄り、水辺の公私計画論の射程や枠組み、調査分析の観点の充実を進める予定としている。</p> <p>以上により、本年度の活動計画・目標に対してじゅうぶんな成果を上げ、次年度の事例収集の充実に向けた準備を整えることができた。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。